

シアトル留学 報告書

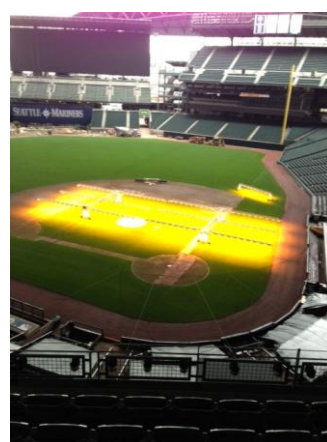
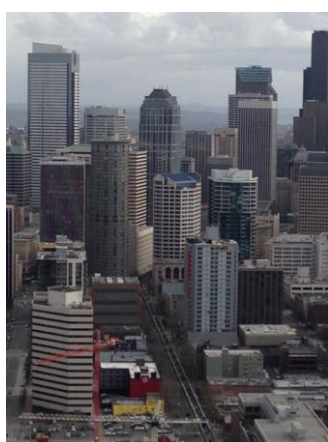
札幌校所属・基礎学習開発専攻・第3学年・田中 成明

今回のシアトル留学では、ワシントン大学の短期留学生として3週間過ごしました。ワシントン大学では自分たち短期留学生向けの特別授業プログラムが生まれ、毎週月曜日から金曜日の間、週5日間学校で授業を受けました。授業を受けるにあたって、まずクラス分けが行われました。クラスは3つあり、それぞれLOW,MIDDLE,HIGH class というように呼ばれ、選考されて自分のクラスが決まる仕組みです。選考するのに自分たちは最初簡単にテストを受け、先生と面接をしました。それは堅苦しいものではなく、リラックスしながら受けることができました。



それぞれクラスが決まり、自分も担任の先生の行う授業プログラムを受講しました。授業はオールイングリッシュで、日本語は使ってはいけません。最初は全然聞き取れず何もできないのではないかと不安に思っていたのですがそれは全くの間違いで、先生はある程度ゆっくりとわかりやすい単語を使いながら説明してくれるので話している内容をほとんど理解しながら受けることができました。授業時間は休憩も取りながら、一日3時間ほどで少し長くは感じましたが、自分は特にリスニングの面ですぐに成長を実感できるほどになったので、とても身になる授業であったと思います。先生はとても優しく、間違いをしても怒らずに、よく挑戦したと褒めてくれました。最初は緊張気味で静かだったクラスもだんだん活気が出て、先生のおかげでとてもいい経験ができました。また、火曜日と木曜日には午後に先生方と一緒にシアトルの観光名所や大学内の施設を見て回ることもできるフィールドト

リップというものがありました。原則参加ではありませんが強制ではなく、あくまで観光が主な目的のものなのでできるなら毎回参加したほうがいいと思います。交通費や入場料などは先生方から出されるので、自分は本当に時間が無いとき以外はほぼ全てに参加しました。また、3クラス同時に開催されるので、より多くの人と関わるきっかけにもなるので、そういう面からみてもかなりおすすめのもです。自分は教育大の他専攻の人のみならず、他キャンパスの人や、他大学の人とも交流できたので、話をする中で学べたことが数多くありました。せっかくの機会なので積極的に参加して、多くの人と触れ合ってみるのもいいと思います。



学校は週3で午前だけのプログラムなので、その日は毎日シアトルの中心地であるダウンタウンやワシントン大学の周辺でショッピングをしたり、バスなどで行ける距離にあるところで公園に行き、自然を見に行ったり、ビルにのぼって景色を楽しんだりしました。日本とは違うところが生活の中でもたくさんあり、いろんな所へ行くこと自体が自分にとって勉強になったと思います。建物や道路、大学やトイレまでアメリカでは土地をふんだんに使っており、それぞれのスケールが思っていたよりも大きくてとても驚きました。直にアメリカに行って街を歩いてみるだけでも、アメリカらしさを感じることができます。自分はショッピングを中心に過ごし、たくさんの絶景を見ることにも時間をかなりかけました。シアトルのダウンタウンの夜景を見たことが一番の思い出です。ただ、夜間は日本よりも治安が悪いため、あまり遅くならないように心掛けて行動しないといけませんでした。自分は大体8時前後に帰宅していました。あと伝えたいこととして、アメリカ滞在中はホームステイということで、注意しなければならないことがいくつかあるということです。それぞれの家の仕組みや、家族によって違いはありますがひとつ日本と全く違うことは風呂の使い方です。それぞれの家でどのように使う

のかをまず聞いて、起こさなくてもいいトラブルは避けるべきだと思います。他には、家でとる食事や洗濯の頻度、ディナーへの参加などいろいろわからないことがたくさんあります。家庭によってルールが違うので少しでもわからなかったらすぐに聞いて解決すること、これが重要だと思います。自分も毎回納得できるまで話をしました。ネイティブの英語でスピードが速すぎてなかなか会話することにてこずりましたが、本当に理解するまでしっかりと聞くことが必要です。あと、あくまで家族の一員としてみられ、特別な待遇がたくさんはないので注意してほしいです。朝は基本起こしてくれませんでした。すべて自己責任というわけです。朝は6時には起きなければならなかったので結構大変でした。

せっかくの機会なので、いろんなことに対して積極的にになり、多くのことを経験してください。こういう貴重な場では何をすることもとりあえず迷ったら行動することが大切です。この留学を通して「アメリカ」を堪能して下さい!!